

京都府内における令和7年国勢調査広報業務委託に係る企画提案募集説明会における質疑回答

番号	分類	項目	質問	回答
1	募集要領	8(1)評価基準	これまで、アニメのコンテンツを使用した広報展開が続いているが、それらが採用された理由としては、若年層に繋がるプロモーションがポイントになるということか。	アニメキャラクターの採用が続いているが、企画力やデザイン力などを総合的に評価した結果と考えている。
2	提出書類一覧	7 京都府税の滞納がないことの証明	京都府内に本店、支店、営業所がない場合、「京都府税の滞納がないことの証明」は発行されるのか。また、府税納税証明書に代えて「京都府競争入札参加資格審査結果通知書のコピー」を提出することができるかとあるが、入札参加資格の取得の必要があるのか。	京都府内に本店、支店、営業所がない場合でも、「京都府税の滞納がないことの証明」は発行される。京都府府税事務所、各広域振興局税務課又は京都府総務部税務課宛て、様式4により交付請求を行っていただきたい。なお、入札参加資格の取得については不要。
3	提出書類一覧	5 実績調書	実績調書について、「本件と同等の委託業務を実施した実績」を記載することとなっているが、同等の考え方は。	本件と同じような広報業務に関することで、金額が同程度の業務について記載いただきたい。
4	仕様書	第2 2(1)京都府の国勢調査広報用のオリジナルキャラクターの作成・使用	広報キャラクターについては、必ずしもアニメキャラクターではなく、例えば、京都出身のタレントの提案でも可能か。	広報キャラクターについては要件は設けていない。事業者の判断で啓発効果の高いものを御提案いただきたい。
5	仕様書	第2 2(3)以下の点に留意した内容の広報	外国人住民の方に対する広報について、チラシ等の啓発物のビジュアルは同じものを使用し、翻訳した内容を記載するという方法でよいか。	御認識のとおり、同じデザインのチラシで、言語を変えて多言語に対応していく方法が考えられる。他にも効果的な方法があれば御提案いただきたい。
6	仕様書	第2 2(3)以下の点に留意した内容の広報	京都府内の人口ピラミッドを見ると、45歳～69歳の年代、次に70歳以上の年代がウエイトとして多いと思うが、仕様書においては「若年層、子育て世代、外国人住民など」と異なるターゲットの記載がある。これらのターゲットについては、「前回の回答率が低かったため重点的に広報する必要がある」などの理由があるのか。	仕様書に記載している「若年層、子育て世代、外国人住民など」については、幅広い世代に対して、それぞれの態様に応じた広報展開を提案させていただいたため、このように記載している。その他、「前回調査結果から見た課題」に示したようなデータから、例えば、特にターゲットとすべき年代がある、と分析いただくならば、そのようなこともポイントに企画を検討いただきたい。
7	仕様書	第2 3 広報仕様	広報仕様について、必須の広報媒体として新聞、交通広告、ポスター、チラシが挙げられているが、他にに関しては事業者が判断して提案するということか。	御認識のとおり、必須の広報媒体以外については、広報仕様を示す項目の中で効果的な企画を御提案いただきたい。
8	仕様書	第2 3(2)SNS等インターネットを活用した広報	SNSを活用した広報に関し、前回調査(令和2年国勢調査)においては、Twitter(現X)やInstagram等による広報を行ったとのことだが、アカウントについては国勢調査専用のアカウントを作成したのか、それとも京都府が持っている公式アカウントを用いたのか。	国勢調査専用のアカウントを作成した。
9	仕様書	第2 3(3)イベント、街頭啓発等による広報	イベント、街頭啓発等について、前提として、京都府が主催するイベントがあるのか、それとも事業者が独自に企画するのか。	京都府主催で予定しているイベントは特にないため、効果的な企画を御提案いただきたい。
10	仕様書	第2 3(3)イベント、街頭啓発等による広報	イベント、街頭啓発等について、京都市内であれば実施する箇所が複数考えられるが、京都府下では実施箇所の選定が難しい地域もある。啓発活動がしやすい地域に限った提案でもよいか。	広報仕様において、「広く府民が参加するイベントや街頭啓発等を実施すること」としているが、啓発効果を高めるため、多くの集客が見込める地域、企画を御提案いただきたい。
11	仕様書	第2 3(3)イベント、街頭啓発等による広報	イベント、街頭啓発等について、前回調査(令和2年国勢調査)ではコロナ禍のため実施しなかったとのことだが、それ以前は実施していたのか。実施していた場合、どのような内容か。	前々回調査(平成27年国勢調査)においては、受託者が啓発物品を制作し、京都府職員が街頭で啓発物品の配布を行った。今回は、受託者にイベント、街頭啓発等の実施をお願いしたい。
12	仕様書	第2 3(3)イベント、街頭啓発等による広報	前々回調査(平成27年国勢調査)で実施された街頭啓発について、実施した場所と集客数について教示いただきたい。	四条烏丸及び四条河原町において実施。集客数の記録はないが、街頭啓発物品4,550個を配布した。
13	説明会配布資料	参考1	参考1の資料「京都府における令和2年国勢調査広報業務実績」において、新聞広告やオリジナルポスターにおける「デザイン」欄に「京都府」と記載されているが、京都府が制作したものということか。	令和2年国勢調査における企画提案募集において採用した京都府オリジナルの広報キャラクターを使用したデザインという意味である。

番号	分類	項目	質問	回答
14	説明会配布資料	参考1	前回調査(令和2年国勢調査)において、京都府東宇治高校吹奏楽部応援ムービーを独自キャンペーンサイトに掲載したとのことだが、前回の契約金額の範囲内で作成されたのか。この場合、どれくらいの経費(規模感)であったか。	契約金額の範囲内で作成された。経費については回答は控える。
15	その他		今回の企画提案募集以外で、京都府において、府民だよりでの広報や掲示板へのポスター掲出など、独自で予定している広報はあるか。	具体的な内容、時期は未定であるが、京都府が持つ広報媒体での広報も検討している。
16	その他		前回調査(令和2年国勢調査)の年代別の回答率など、詳細が確認できる資料はあるか。	<p>前回調査(令和2年国勢調査)の資料ではないが、令和6年度に国が行った「令和7年国勢調査第3次試験調査」における全国の年代別回答率は以下のとおり。</p> <p>20歳代:60.2%、30歳代:71.5%、40歳代:77.3%、50歳代:83.3%、60歳代:90.4%、70歳代:93.1%、80歳以上:89.8%</p> <p>【資料】 令和7年国勢調査第3次試験調査実施状況等結果の概要(総務省) https://www.stat.go.jp/info/kenkyu/kokusei/yusiki07/pdf/06sy0101.pdf</p>